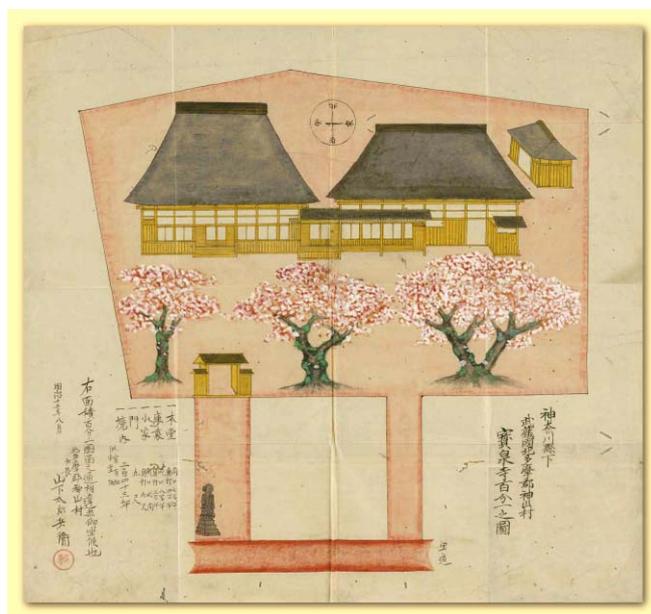


東京文化財ウィーク 2012 東京都公文書館企画展

「公文書に見る近代の神社・寺院」

- ◆ 展示期間：平成 24 年 10 月 29 日（月）～12 月 25 日（火）
（休館：土日、祝日および 11 月 21 日（水）・12 月 19 日（水））
- ◆ 開館時間：午前 9 時～午後 5 時
- ◆ 場所：東京都公文書館 展示コーナー
- ★ 東京文化財ウィーク 2012（東京都教育委員会主催）参加企画



宝泉寺百分一之図（現東久留米市神宝町）

東京都公文書館は毎年東京都教育委員会主催の東京文化財ウィークに合わせ、当館所蔵の文化財を中心とした企画展を開催してきました。また本年は、昭和 7 年（1932）に東京市が周辺 5 郡 82 町村を合併し、新たに 20 の区が誕生してから 80 年という節目の年に当たり、各地で地域の歴史を振り返る動きもさかんなようです。

こうした中、この企画展では、近代における神社や寺院の姿を紹介して参ります。

明治維新により、神社や寺院を取り巻く環境はそれまでと大きく変わりました。府県や国は新たな対応と政策形成の前提として、神社・寺院の実態を把握するために各種の調査を実施します。その結果残されることになった各種の神社明細・寺院明細の類は当時の社寺と地域社会の歴史を読み取る貴重な情報を提供してくれます。

今回はじめてご紹介する絵図も含めてじっくりとご観覧下さい。本企画展が、身近な神社や寺院、さらには地域の歴史について関心を深められるための一助となれば幸いです。

平成 24 年 10 月

東京都公文書館

1. 明治初期の社寺調査

明治新政府は、それまでの神仏の習合した形態に対して神仏分離を進め、神祇官の復興など神道の国教化を目指しました。また、神道国教化政策が行き詰まった後には、神職や僧侶を動員した国民の教化が志向されました。

このように、明治維新を境として神社と寺院の関係、社寺と国家との関係は一変し、社寺の実態は改めて把握される必要がありました。明治初期の社寺調査は、そのような状況下において、社寺行政の前提として取り組まれたものです。

ここでは、明治初期の行政区画である大区小区制に基づいて編綴された「神社明細簿」や、府社を中心にして郷社・村社などをその下に編制した神社組合の「明細」、また寺院については、宗派ごとに、明治5年、10年、13年頃に作成された「明細」などをご紹介します。

【展示資料】

- ・ 禅臨濟宗・禅曹洞宗・禅黄檗宗本末一派寺院明細帳 明治5年(1872)
請求番号：633.D2.06
明治初期の社寺調査は宗派ごとに取りまとめられました。
本史料はそのうち、臨濟宗・曹洞宗・黄檗宗のものです。
- ・ 神社明細簿・天・従第二大区至第六大区 明治7年(1874)
請求番号：633.G2.03
当時の行政区画である大区小区制に沿って編綴された神社「明細」です。天(第2大区～第6大区)・地(第7大区～第8大区)・人(第9大区～第11大区)から成ります。他に同じく明治7年作成のものとして乾(第1大区～第6大区)・坤(第7大区～第11大区)があります。
- ・ 亀戸神社組合明細・甲号 明治13年(1880)
請求番号：633.G3.03
神社の社格制度が定められ、東京府内の大きな神社の多くは府社とされました。東京府では府社を中心に、その下に郷社・村社・無格社を編制し、神社組合としました。本史料はそのうち亀戸神社組合のものです。亀戸神社の当時の境内の様子が図示されています。
- ・ 回議録彙輯〈社寺掛〉 明治13年(1880)
請求番号：610.A3.14
本史料は、神社組合に関する島根県からの問い合わせに対する回答案です。文案は以下のように書かれています。

嶋根県六等属若槻敬宛 本課

神社組合之儀ニ付御問合越候趣了承右は旧小区及ヒ町村等ニ掘り候義ニ無之当府於テハ府社九社有之候ニ付最寄神社ヲシテ九区ニ分チ組合ヲ立テ府社ヲ巻区ノ長トシ組合郷村社ヲ統轄セシメ有之候条此段及御回答候也

2. 神社明細帳・寺院明細帳の成立

内務省は明治11年(1878)に、「社寺取扱概則」によって社寺の創建や再興・移転・廃合・改称などの出願・届出について指示を与えました。さらに翌12年(1879)には「神社寺院及境外遙拝所等明細書式」を府県に達しました。これによって、記載項目や形式を統一した神社明細帳・寺院明細帳が作成されました。

完成した神社明細帳・寺院明細帳は、各府県と内務省(寺院明細帳については大正2年(1913)以降は文部省)とに保管され、出願や届出があった際には加筆・修正などその内容を反映させることが義務付けられた公簿として機能していきました。

ここでは当館に数多く残された神社明細帳や寺院明細帳を展示します。ただし、これらの記録の残り方は一様ではありません。所蔵一覧については、本資料末尾の一覧リストをご参照ください。

【展示資料】

- ・第2法令類纂・巻之15・社寺部・下

請求番号：632.B5.21

明治12年(1879)6月、内務省は統一的な社寺明細帳の作成を府県に対して指示しました。ここでは、東京府が、政府の布令や布告、府や警視庁の布達類を分類・編さんした「法令類纂」の該当箇所を展示しました。

- ・回議録・雑件・甲ノ部(社寺部) 明治18年(1885)

請求番号：615.A3.05

社寺明細帳は公簿として追加や修正が行われます。本史料は明治18年(1885)12月7日に作成され、27日に送達された明細帳訂正の上申案です。「内務卿」の右に「大臣」と朱書きされています。これは、同月22日付で太政官制が廃止され、内閣制度の採用により、内務省の長官は内務大臣になったことによります。文案箇所は以下のとおりです。

長官

大臣
内務卿宛

社寺明細帳訂正之義ニ付上申

明治十二年調製之社寺明細帳進達後尚取調候処其錯誤又ハ変更等別冊之通候条予

テ差出有之明細帳御訂正相成度此段上申候也

- ・ 神社明細帳・8・北多摩郡 明治12年(1879)～

請求番号：633.C4.07

北多摩郡の神社明細帳には昭和19年(1944)の加筆修正が確認され、戦前期を通じて公簿として機能していたことをよく示しています。本史料は中清戸村(現在の清瀬市清戸)の愛宕神社の明細帳です。また、下の絵図は明治16年(1883)の同社の様子を描いたものです。しかし、愛宕神社は明治38年(1905)に同村の日枝神社に合祀され、明細帳から削除されています。

- ・ 神社明細帳・9・南多摩 明治12年(1879)～

請求番号：633.C4.08

南多摩郡の神社明細帳には、「神奈川県(武蔵国)南多摩郡」との表記が見られます。神奈川県に属していた北多摩・南多摩・西多摩の各郡は明治26年(1893)に東京府に移管され、行政文書は東京府に引き継がれました。

- ・ 寺院明細帳・本郷区 明治18年(1885)～

請求番号：633.E3.13

社寺明細帳は、中央官庁(内務省・文部省)と各府県で保管されました。本史料は、東京府が保管していた本郷区の寺院明細帳です。

- ・ 郡部仏堂明細帳 明治18年(1885)～

請求番号：633.D5.02

寺院の要件として本堂・庫裏の存在が明文化されると同時に、方六尺以上の施設は「堂宇」と認められ、仏堂明細帳にまとめられました。当館では、展示した「郡部仏堂明細帳」(南葛飾・南足立・東多摩・南豊島・北豊島・荏原)の他に、「三多摩郡仏堂明細帳」を所蔵しています。

3. 神社・寺院の絵図

当館の所蔵史料の中には、地域社会との関係の深い社寺の絵図が含まれています。今回展示した絵図は、前のコーナーでご紹介した社寺明細帳の編さんに際して、付録として作成されたものと推測されます。

同絵図の特色としては、①建物や境内の設備、境界線の記載が重視されていること、②記載項目(所在地、建物の向きや大きさ、坪数、縮尺、代表者・総代・戸長の署名・捺印、地種など)に共通性があること、③縮尺が原則百分の一であること、などが指摘されています。

神奈川県立金沢文庫などの調査によれば、相模国、武蔵国久良岐郡・北多摩郡での作図

が確認されています。当館所蔵の絵図も、全て北多摩郡内のものです。

北多摩郡は、南多摩郡・西多摩郡とともに明治 26 年（1893）に神奈川県から東京府へ移管されました。作図の命令は全国一律ではなく、府県の判断によったらしく、今回展示した絵図は神奈川県の指示を受けて作成され、その後の東京府編入により当館の所蔵に至ったものと考えられます。

【展示資料】

- ・ 北多摩郡中清戸村愛宕神社図 明治 16 年（1883）
（現清瀬市清戸日枝神社・水天宮に合祀）
- ・ 武蔵国北多摩郡狭山村圓乗院図 明治 14 年（1881）
（現東大和市狭山）
- ・ 宝泉寺百分之一の図〔北多摩郡神山村〕 明治 15 年（1882）
（現東久留米市神宝町）
- ・ 武蔵国北多摩郡深大寺村池上院絵図面 明治 14 年（1881）
（現調布市深大寺元町）
- ・ 武蔵国北多摩郡西窪村稻荷神社之図
（現武蔵野市緑町）
- ・ 社絵図 武蔵国北多摩郡平兵衛新田〔稻荷大神〕明治 15 年（1882）
（現国分寺市光町）

4. 移り変わる神社・寺院

本コーナーでは、近郊地域において、神社や寺院が地域社会の中でどのように移り変わっていったのか、いくつかの史料から見ていきたいと思います。

現在の世田谷区域は大正期から昭和初期にかけて急速にその姿を変えていきました。農村を慕って千歳村粕谷に居を構えた徳富蘆花は、大正元年（1912）の随筆の中で、鉄道の敷設や地価の高騰、都市需要を見込んだ商品作物栽培への転換などに触れ、「東京が大分攻め寄せて来た」と表現しています。

大正 12 年（1923）の関東大震災以降さらに加速した都市近郊の人口増加は、都市部と周辺地域との行政の一体化を不可欠なものとししました。そこで東京市は、昭和 7 年（1932）に近郊の 5 郡 82 町村を市に編入し、新しく 20 区を設けて全 35 区となります。いわゆる大東京市の成立です。ついで、昭和 11 年（1936）には北多摩郡の砧村・千歳村も世田谷区に編入されました。

また、東京府の社寺関係文書を見ると、農家の減少にともなって、それまで農事暦に合わせて行われていた祭礼日の変更が多く申請されています。都市部からの人口流入により、近郊地域は農村から住宅地へとその性格を変え、神社にも影響を与えていったのです。

【展示資料】

- ・ 徳富健次郎（蘆花）『みみずのたはこと』 大正 2 年（1913）・服部書店（初版）
展示は『蘆花全集』第九巻（蘆花全集刊行会・昭和 3 年（1928））・個人蔵
- 小説家の徳富健次郎（蘆花）は明治 40 年（1907）2 月に、当時は東京の近郊農村であった北多摩郡千歳村字粕谷（現在の世田谷区粕谷）に移り住みます。当時、蘆花は 38 歳（数えて 40 歳）。昭和 2 年（1927）9 月に亡くなるまで粕谷で暮らします。

『みみずのたはこと』は、粕谷での生活を中心に描いた随筆集です。

- ・ 東京市社会局社会教育課『東京府市寺院名簿』 大正 14 年（1925）

請求番号：市刊 F251

本書には東京市内 15 区の寺院が列記されています。下表は、各区の寺院数を示したものです（烏山寺町のある千歳村など、当時東京市でなかった地域は掲載されていません）。麴町区・神田区・日本橋区には寺院が少ないですが、その中でも神田区には全く登録がありません。仏教思想家の友松圓諦は、昭和 22 年（1947）に外神田に浄土宗の神田寺を創建しますが、神田に寺院がなかったことも理由のひとつとされています。

東京市内寺院数

区	寺院数	区	寺院数
麴町区	2	牛込区	73
神田区	0	小石川区	89
日本橋区	3	本郷区	66
京橋区	60	下谷区	184
芝区	178	浅草区	272
麻布区	81	本所区	60
赤坂区	25	深川区	75
四谷区	43		

- ・ 寺院明細帳・本郷区、麴町区、日本橋区、京橋区、四谷区

請求番号：633. E3. 01

- ・ 寺院明細帳・浅草区

請求番号：633. E3. 05

- ・ 寺院明細帳・本所区、深川区、麻布区、小笠原島等

請求番号：633. E3. 06

東京には寺院の集まった寺町と呼ばれる地域がいくつかありますが、北多摩郡千歳村（現在の世田谷区北烏山）の「烏山寺町」は、関東大震災後から昭和初期にかけて形成されました。明細帳に移転の情報が朱書きされています。

- ・ 神社祠宇 冊の 13 〈昭和 4 年〉

請求番号：312. B8. 03

北野神社昇格申請書

豊多摩郡野方町（現在の中野区新井）北野神社・昭和3年（1928）

下表は同文書中の「氏子区域及戸数」を基に作成しました。北野神社の氏子数が大正初期から急増していることがわかります。

北野神社氏子戸数の推移

年次	氏子戸数	年次	氏子戸数
文化8年（1811）	50戸	大正8年（1919）	257戸
明治5年（1872）	72戸	大正9年（1920）	356戸
明治40年（1907）	76戸	大正10年（1921）	460戸
明治45年・大正元年 （1912）	80戸	大正11年（1922）	538戸
大正2年（1913）	87戸	大正12年（1923）	1,508戸
大正3年（1914）	108戸	大正13年（1924）	1,622戸
大正4年（1915）	131戸	大正14年（1925）	1,744戸
大正5年（1916）	150戸	大正15年・昭和元年 （1926）	1,824戸
大正6年（1917）	188戸	昭和2年（1927）	1,950戸
大正7年（1918）	216戸	昭和3年（1928）	2,535戸

（大正元年から昭和2年については各年12月末日現在）

東京都公文書館所蔵 神社・寺院明細帳等一覧

神社

同じ趣旨で作成されたと思われる文書については太枠で囲みました。

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
神社明細簿・乾・自第一大区至第六大区 明治7年1月〈社寺掛〉	第1大区～第6大区		633. C2. 01	D504
神社明細簿・坤・第七大区至十一大区 〈社寺掛〉明治7年	第7大区～第11大区		633. C2. 02	D504
神社明細簿・天・從第二大区至第六大区 〈社寺取扱・社寺掛〉明治7年	第2大区～第6大区		633. C2. 03	D504
神社明細簿・地・從第七大区至第八大区 〈社寺取扱・社寺掛〉明治7年	第7大区～第8大区		633. C2. 04	D504
神社明細簿・人・從第九大区至十一大区 〈社寺取扱・社寺掛〉明治7年	第9大区～第11大区		633. C2. 05	D504
(神社明細帳・第一大区～十一大区)(表紙と目次の一部欠)明治7年	第7大区～第11大区		633. C2. 06	D504
府社明細簿 明治10年2月調〈社寺掛・社寺科〉			633. C2. 07	D504
郷社明細簿 明治10年2月調〈社寺掛・社寺科〉			633. C2. 08	D504
村社明細簿 明治10年2月調〈社寺掛・社寺科〉			633. C2. 09	D504
日枝神社組合明細・全 〈社寺掛〉明治13年			633. C2. 10	D504
事比羅組合明細帳・甲 〈社寺掛〉明治13年			633. C2. 11	D504
事比羅組合明細・乙・明治13年5月〈社寺掛〉明治13年			633. C2. 12	D504
神田神社明細・乙 〈社寺掛〉明治13年			633. C2. 13	D504
上野東照宮組合明細・甲号 〈社寺掛〉明治13年			633. C3. 01	D504
深川八幡組合明細・完 〈社寺掛〉明治13年			633. C3. 02	D504
亀戸神社組合明細・甲号 〈社寺掛〉明治13年			633. C3. 03	D504
新田神社組合神社明細帳 〈社寺掛〉明治11年			633. C3. 04	D504
千住口、神社取調書上帳明治5年壬申歳5月〈社寺掛〉			633. C3. 05	D504
神社明細帳・1・東京府武蔵国麴町神田日本橋京橋芝麻布赤坂区 〈東京府〉明治12年	麴町区・神田区・日本橋区・京橋区・芝区・麻布区・赤坂区	表紙に「壺」貼紙	633. C4. 01	D504

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
神社明細帳・3・東多摩南豊島郡 〈東京府〉明治12年	東多摩郡・南豊島郡	表紙に「参」貼紙	633. C4. 02	D504
神社明細帳・4・荏原郡 〈東京府〉明治12年	荏原郡	表紙に「四」貼紙	633. C4. 03	D504
神社明細帳・5・北豊島郡 〈東京府〉明治12年	北豊島郡	表紙に「五」貼紙	633. C4. 04	D504
神社明細帳・6・東京府武蔵国 〈東京府〉明治12年	南葛飾郡	表紙に「六」貼紙	633. C4. 05	D505
神社明細帳・7・南足立郡 〈東京府〉明治12年	南足立郡	表紙に「七」貼紙	633. C4. 06	D505
神社明細帳・8・北多摩郡 〈東京府〉明治12年	北多摩郡	表紙に「八」貼紙	633. C4. 07	D505
神社明細帳・9・南多摩 〈東京府〉明治12年	南多摩郡	表紙に「九」貼紙	633. C4. 08	D505
東京府西多摩郡神社明細帳・10 〈東京府〉	西多摩郡	表紙に「拾」貼紙	633. C4. 09	D505
神社明細帳・11・伊豆七島小笠原島(明治26年内務大臣へ進達) 〈(東京府)社寺掛〉明治26年	伊豆七島・小笠原諸島	表紙に「拾壺」貼紙	633. C4. 10	D505
神社明細帳・2・麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷のうち(1) 麻布、赤坂、四谷 〈東京府〉明治18年	麻布区・赤坂区・四谷区		633. C4. 11	D505
神社明細帳・2・麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷のうち(2) (牛込、小石川) 麻布、赤坂、四谷 〈東京府〉明治18年	牛込区・小石川区		633. C4. 12	D505
神社明細帳・2・麻布、赤坂、四谷、牛込、小石川、本郷、下谷のうち(3) 本郷、下谷 〈東京府〉明治18年	本郷区・下谷区		633. C4. 13	D505

寺院

同じ趣旨で作成されたとと思われる文書については太枠で囲みました。

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
天台宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内1 明治5年			633. D2. 01	D505
古義真言・新義真言本末派寺院明細帳・(東京府管轄武蔵国)・(8冊ノ内3) 明治5年			633. D2. 02	D505
新義真言・真言律宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内2 明治5年			633. D2. 03	D505
浄土宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内4 明治5年			633. D2. 04	D505

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
浄土宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内5 明治5年			633. D2. 05	D505
禅臨濟宗・禅曹洞宗・禅黄蘗宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・(8冊ノ内6) 明治5年			633. D2. 06	D505
真宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内7 明治5年			633. D2. 07	D505
日蓮宗・時宗本末一派寺院明細帳・東京府管轄武蔵国・8冊ノ内8 明治5年			633. D2. 08	D506
真言宗明細簿・3冊之内・区ノ部 明治10年	区部		633. D2. 09	D506
真言宗明細簿・(3冊の内)・荏原・北豊島・南豊島東多摩郡ノ部・明治10年調製	荏原郡・北豊島郡・南豊島分・東多摩郡		633. D2. 10	D506
真言宗明細簿・(3冊の内)・南足立・南葛飾郡之部・明治10年調製	南足立郡・南葛飾郡		633. D2. 11	D506
臨濟宗明細表・郡区部・明治10年調製			633. D2. 12	D506
天台明細簿・2冊ノ内・区ノ部・明治10年調製	区部		633. D3. 01	D506
天台宗同寺門派明細簿・2冊之内・郡ノ部・明治10年調製	郡部		633. D3. 02	D506
曹洞宗明細簿・2冊之内・区ノ部・郡ノ部・明治10年調製	区部・郡部		633. D3. 03	D506
曹洞宗明細簿・2冊之内・郡ノ部・明治10年調製	郡部		633. D3. 04	D506
日蓮宗明細簿・3冊ノ内・区之部・明治10年調製	区部		633. D3. 05	D506
日蓮宗明細簿・3冊之内・荏原・東多摩・南豊島郡ノ部・明治10年調製	荏原郡・東多摩郡・南豊島郡		633. D3. 06	D507
日蓮宗明細簿・3冊之内・北豊島・南足立・南葛飾郡之部・明治10年調製	北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡		633. D3. 07	1I002
妙満寺八品・興門本成寺・黄蘗・時宗明細簿・明治10年調製			633. D3. 08	1I002
浄土宗明細簿・麴町・芝・麻布・赤坂・四谷・牛込・小石川・本郷下谷之部・明治10年調製	麴町区・芝区・麻布区・赤坂区・四谷区・牛込区・小石川区・本郷区・下谷区		633. D4. 01	1I002
浄土宗明細簿・浅草・本所・深川之部・明治10年調製	浅草区・本所区・深川区		633. D4. 02	1I002
浄土宗明細簿・荏原・南豊島・北豊島・南足立・南葛飾郡之部・明治10年調製	荏原郡・南豊島郡・北豊島郡・南足立郡・南葛飾郡		633. D4. 03	1I002
真宗西派明細簿・京橋区 (社寺掛) 明治13年	京橋区		633. D4. 06	1I002

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
真宗西派明細帳〈社寺掛〉明治13年			633. D4. 07	1I002
真宗東派明細帳・郡区全 明治10～11年			633. D4. 08	1I002
真宗東派更正寺院明細帳・(浅草区)〈社寺掛〉明治12年	浅草区		633. D4. 09	1I002
真宗東派更正寺院明細帳・郡部・区部〈社寺掛〉明治12年	郡部・区部		633. D4. 10	1I002
真宗専修寺派明細帳・17ヶ寺〈社寺掛〉明治13年			633. D4. 11	1I002
郡部仏堂明細帳〈第一課社寺〉明治18年～明治19年			633. D5. 02	1I002
三多摩郡仏堂明細帳・(明治35年5月下旬作成)〈第一課社寺〉明治12年～明治35年			633. D5. 03	1I002
明治36年4月以降・寺院新明細帳仮綴(東京府)			633. D5. 08	1I002
各宗寺院名簿・明治17年10月調査(東京府)			633. D5. 10	1I002
府下寺院明細帳(東京府)明治18年、明治19年			633. D5. 12	1I002
寺院明細帳・本郷区、麴町区、日本橋区、京橋区、四谷区	本郷区・麴町区・日本橋区・京橋区・四谷区	文部省用箋	633. E3. 01	1I002
寺院明細帳・芝区	芝区	文部省用箋	633. E3. 02	1I002
寺院明細帳・下谷区	下谷区	文部省用箋	633. E3. 03	1I002
寺院明細帳・浅草区	浅草区	文部省用箋	633. E3. 04	1I002
寺院明細帳・浅草区	浅草区	文部省用箋	633. E3. 05	1I002
寺院明細帳・本所区、深川区、麻布区、小笠原島等	本所区・深川区・麻布区・小笠原島等	文部省用箋	633. E3. 06	1I002
寺院明細帳・荏原郡	荏原郡	文部省用箋	633. E3. 07	1I002
寺院明細帳・南足立郡、豊多摩郡	南足立郡・豊多摩郡	文部省用箋	633. E3. 08	1I002
寺院明細帳・南葛飾郡	南葛飾郡	文部省用箋	633. E3. 09	1I002
寺院明細帳・八王子市、南多摩郡	八王子市・南多摩郡	文部省用箋	633. E3. 10	1I002
寺院明細帳・北多摩郡	北多摩郡	文部省用箋	633. E3. 11	1I002
寺院明細帳(府中町、西府村、谷保村、立川村、中神村、大神村、宮沢村、田中村、築地村、福島村、郷地村、上川原村、拝島村、砂川村、中藤村、岸村、三ツ木村)〈東京府北多摩郡役所〉	府中町・西府村・谷保村・立川村・中神村・大神村・宮沢村・田中村・築地村・福島村・郷地村・上川原村・拝島村・砂川村・中藤村・岸村・三ツ木村	北多摩郡役所用箋(目次)	633. E3. 12	1I002
寺院明細帳・本郷区〈本郷区〉明治18年	本郷区		633. E3. 13	1I002

社寺共通

同じ趣旨で作成されたと思われる文書については太枠で囲みました。

表題	対象区域	備考	請求番号	DVD
社寺下渡図面・麹町区、神田区、日本橋区、京橋区〈地理課製図部〉	麹町区・神田区・日本橋区・京橋区		633. C7. 04	D505
神仏教院名簿・明治20年1月調〈(東京府)社寺掛〉明治20年			633. C5. 02	D505

* 展示資料は変更することがあります。

平成 24 年 10 月

東京都公文書館

<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/01soumu/archives/>